

東京湾海況情報 16-13

2004(平成16)年の貧酸素水塊のまとめ
東京湾の水温・塩分分布(2004年4月~2005年3月)

平成17年3月31日
千葉県水産研究センター 富津研究所
〒293-0042 富津市小久保 3091
0439-65-3071 FAX 0439-65-3072
E-mail futtsu-gk@mz.pref.chiba.jp

2004(平成16)年の貧酸素水塊のまとめ

昨年の貧酸素水塊についてまとめました。貧酸素水塊は底びき網などの漁船漁業に影響が出たり、青潮の発生につながります。「貧酸素水塊速報」の発行は、昨年(平成15年)から千葉県水産研究センター(編集)、神奈川県水産総合研究所、内湾底びき網連絡協議会が主体となり、海上保安庁海洋情報部、千葉県環境研究センター、東京都環境局が協力機関として共同で実施しています。

1. 底層の溶存酸素量分布(図1-1~1-2)

昨年の底層の溶存酸素量(DO)分布をならべてみました。貧酸素水塊は4月12日に一時的に発生しました。継続的な発生は5月24日に始まり、11月16日まで続きました。一昨年(平成15年)は4月28日~11月5日でしたので、はじまりが約1か月遅かったことが特徴です。

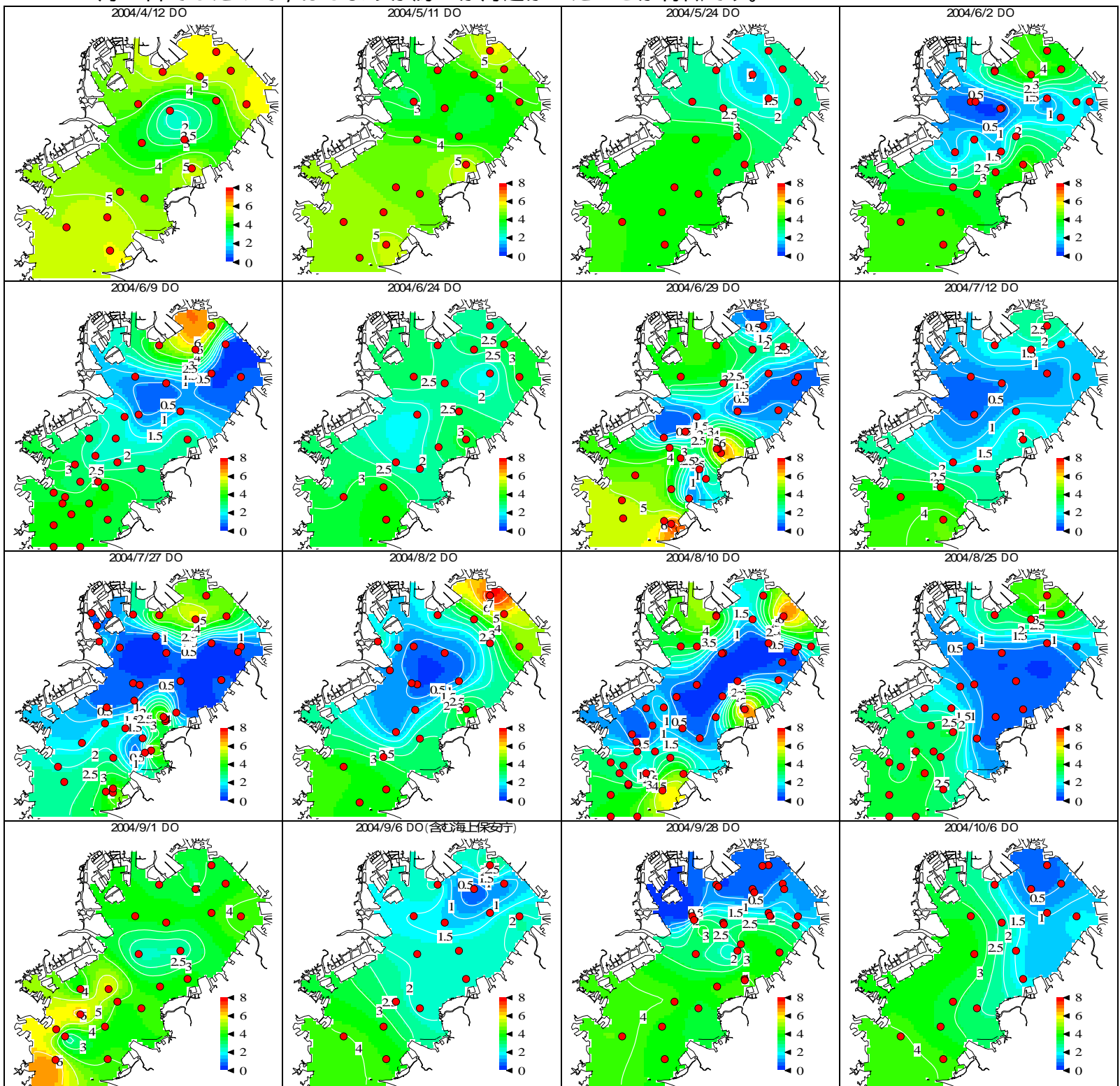


図8-1 平成16年の底層のDO分布(m/l) つづく

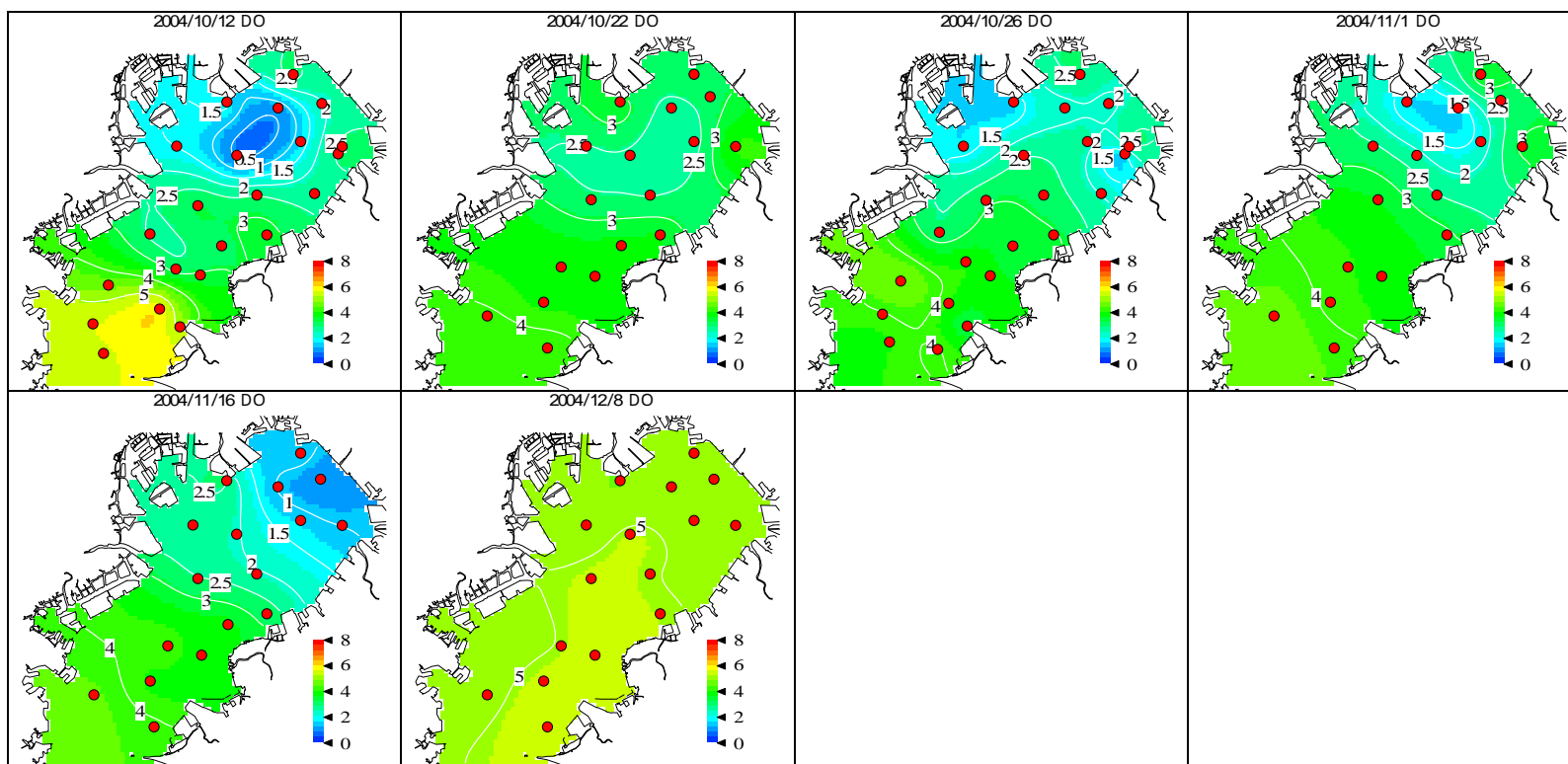


図 1-2 平成 16 年の底層の DO 分布 (m/l)

2. 内湾鉛直縦断面の DO 分布からみた貧酸素水塊の大きさ(図 2~4)

水産研究センターでおこなっている水質調査点のうち内湾中央南北の 6 点(図 2)で求めた鉛直縦断面の DO 分布から貧酸素水塊の大きさを表しました。図 3 は調査ごとの鉛直縦断面の DO 分布, 図 4 は DO 分布のうちの貧酸素水(2.5m/l 以下)部分の面積比(貧酸素水割合)を示したものです。

今年は発生が遅く, 6 月, 8 月の台風と 7 月の青潮で, 貧酸素水塊は 3 回大幅に縮小されました。最大は 7 月 21 日の 54% と昨年(63%) に比べて小さく規模で, 12 月 8 日には解消が確認されました。2, 3 月の分布図は珪藻赤潮の発生により DO が高くなっています。

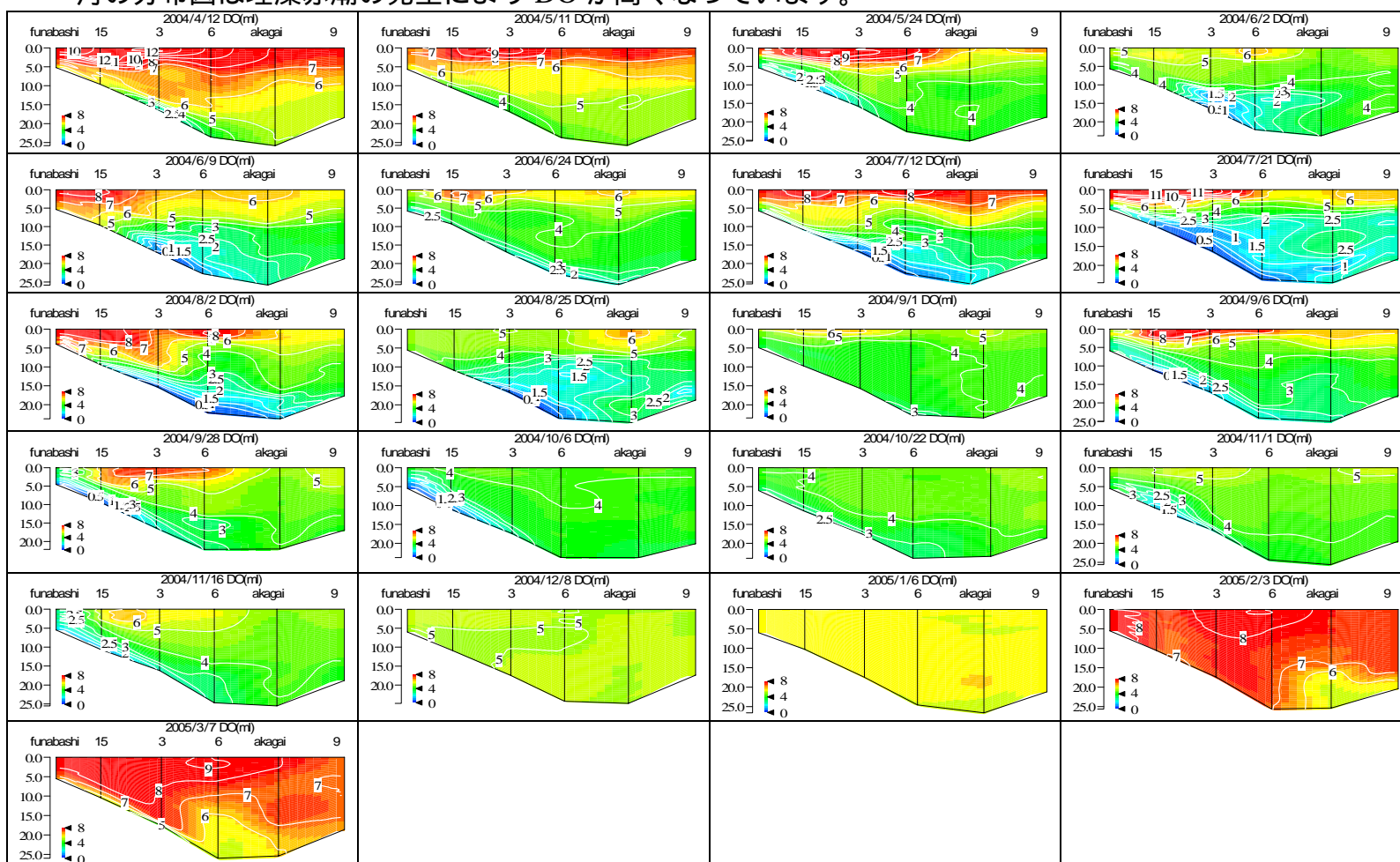


図 3 平成 16 年の鉛直縦断面の溶存酸素量分布 (m/l)

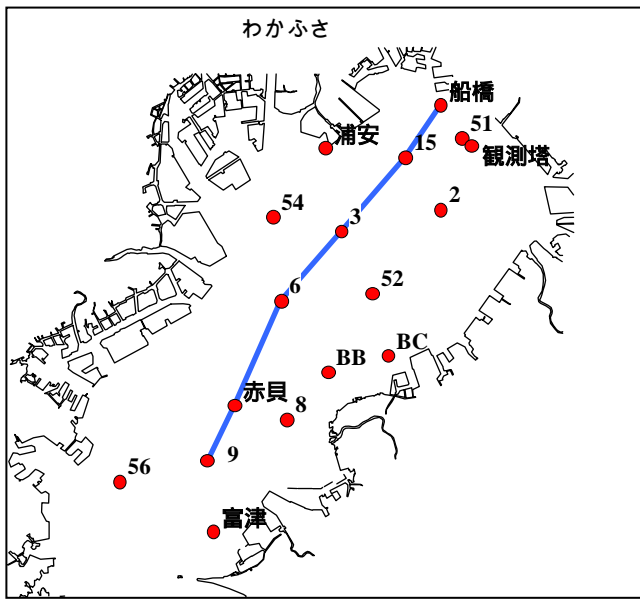


図2 貧酸素水塊調査点(青線は鉛直縦断面の調査点)

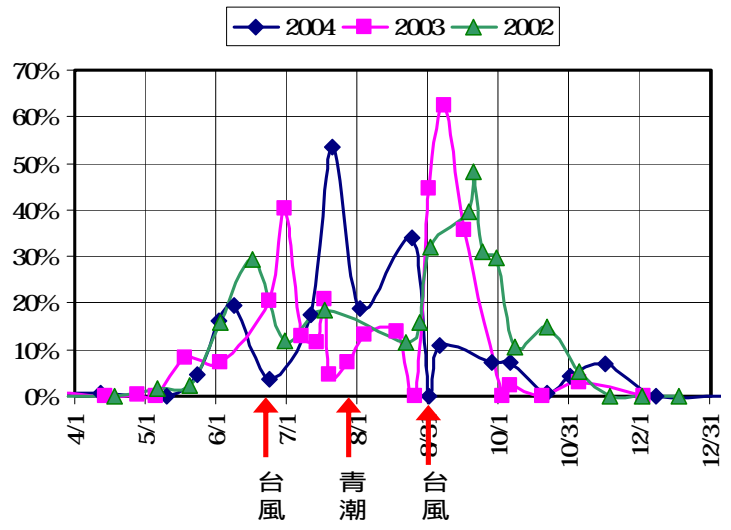


図4 鉛直縦断面の貧酸素水割合(2.5mg/l以下)

3. 昨年(2004年)の青潮の発生状況(表1)

環境生活部の集計によると、昨年(2004年)の青潮の発生は7月28～30日に市川航路～養老川河口で広範囲に発生した1回でした。

表2 最近の青潮の年度別発生状況

年度	8	9	10	11	12	13	14	15	16
発生回数	3	2	4	2	5	4	4	2	1